

1月～2月のりた (告知)

- 時 開催時間 対 参加対象
- 所 開催場所 申 参加方法
- ¥ 参加費 持 持ち物
- 定 定員(選定方法)

1/29 土 東部活躍人！交流会 地域を元気にする「宮崎×サイクリングの挑戦」

東部地域で活躍する団体が集まり、情報交換と親睦を図る交流会。「地域づくりの新しい担い手!?関係人口とは?」「宮崎学区の事例紹介」など、地域資源を活かした活動について発表いただきます。

- 時 10:00～12:00
- 所 額田センターこもれびかん(樫山町)
- ¥ 無料 定 30名(先着順)
- 申 必要。直接または電話にて、むらさきかんへお申し込みください

2/5 土 地域活動サミットin北部 ～オンライン体験会&アドバイス会～

北部地域で活躍する団体の情報交換会。オンライン活動での見せ方や話し方などに関する意見交換を行います。

- 時 14:00～16:00
- 所 なごみん 3階ホール
- ¥ 無料 定 30名(先着順)
- 申 必要。直接または電話にて、なごみんへお申し込みください

2/20 日 第7回ゆきフェスタ ～市民活動博覧会～

市民活動団体や公益的な活動をしている団体を地域の皆さんに知ってもらうための企画。活動内容を紹介する展示を行います。雑貨や食品の販売もあります。

- 時 10:00～13:00
- 所 悠紀の里 ¥ 無料(一部有料)
- 申 不要。直接悠紀の里にお越しください。※展示は2/26(土)まで行います。

NEWS 1

第2回全センター合同広報講座(全2回)

実践団体に学ぶ クラウドファンディング超入門講座 ～おカネと仲間がどんどん集まる!?～

クラウドファンディング(CF)に関心はありますか?CFは、インターネットを使って資金を集めると同時に、団体をPRする絶好の機会になります!今回は、過去に挑戦した団体(3団体)をゲストとして呼びし、成功体験や苦労話を伺います。実践者の生の声から、広報活動と資金調達のコツについて学んでみませんか?

日時:1月22日(土) 10時00分～12時00分(9時45分より受付開始)

場所:岡崎市図書館交流プラザ 会議室301

定員:40名程度

費用:無料

申込:必要。市民活動センターへお申し込みください。



NEWS 2

第1回全センター合同広報講座(全2回)

成果物展示会

11月に開催した広報講座「年表で活動の見える化!～団体の履歴書を作ろう～」では、参加団体の履歴書を作成しました。この講座の学びの紹介と団体のPRとして、成果物(履歴書)の展示を行います。

センター名	期間	場所
なごみん	1/12(水)～1/26(水)	1階ギャラリー
よりなん	〃～1/23(日)	ギャラリー
やはぎかん	〃～1/19(水)	〃
むらさきかん	〃～1/26(水)	〃
悠紀の里	〃～1/26(水)	〃
りぶら	1/28(金)～2/7(月)	2Fジャズコレクション展示室前

※施設の閉館時間は9:00～21:00まで

問合せ:市民活動センターへお問い合わせください。



お問合せ		よりなん	59-3600	むらさきかん	66-3066	市民活動センター	23-3114
なごみん	66-8251	やはぎかん	33-3665	悠紀の里	57-5050	まち育て推進チーム	23-2888

まちのミカタ

Litaracy

2022.01 vol.113

発行・編集



特定非営利活動法人
岡崎まち育てセンター・Lita

〒444-0031 愛知県岡崎市梅園町3丁目6-6
TEL(0564)23-2888/FAX(0564)23-2898
http://www.okazaki-lita.com/
https://www.facebook.com/okazaki.lita/

配布

岡崎市図書館交流プラザ・Libra/岡崎市内の地域交流センター
会員宛へ郵送 等 ※会員登録をご希望の方は左記までご連絡ください。

配布協力

岡崎市役所各支所/岡崎市各市民センター/シビックセンター/
FMおかざき/杉くんの駄菓子屋/angelshare/松應寺/cafeくらがり/

まちのミカタ

Litaracy

ーりたらしいー

113

2022年1月



特集1 すべての人が支え合うための、垣根を超えた話し合いの場づくり。

2021年度から岡崎市ふくし相談課の呼びかけで始まった「居場所と役割にあふれるまちミーティング」(以下、まちMTG)。これは「地域共生社会の実現」に向けて、介護、障がい、子育て、生活困窮の分野ごとに行われていた相談支援や地域づくりなどを、より一体的にできるように創設された重層的支援体制整備事業の取り組みの一つです。

りたは、2017年度の北部地域包括支援センターへのファシリテーションの技術指導(りたらしい94参照。)の成果をきっかけに、小学校区や町内会などを事業範囲としている地域包

括支援センターの会議運営や広報の支援を行ってきました。今回は市域を範囲とした事業推進のために、行政機関、関係機関、地域関係者、民間事業者などが、垣根を越えて実情や思いを話し合える場である「まちMTG」を、円滑に行うことができるように企画やファシリテーションの支援などを行っています。

こうした「地域共生社会の実現(一人ひとりに居場所と役割がある社会)」と「地域生活課題の解決」掲げる、ふくし相談課の地域づくりに向けた取り組みをご紹介します。

すべての人が支え合うための、垣根を超えた話し合いの場づくり。

●「居場所と役割にあふれるまちミーティング」

高齢者の総合相談窓口として市内に20ある地域包括支援センターと、その管轄課であるふくし相談課には、分野を問わないさまざまな相談ごとが舞い込んでいます。直接対応できることもあれば、民間事業者、地縁団体、医療機関、警察などの適切な機関や市の担当課につないでいくことも大切な仕事の一つです。このように各機関の横のつながりの重要性を認識した同課が、地域共生社会の実現に向け、相互理解、情報共有、意見交換の場をとして「まちMTG」を設けたのです。まちMTGのテーマには、市内の企業の発意を踏まえ、食品ロスと生活に困っている方をつなぐ『OKフードドライブ』（※1）を念頭においた「フードドライブ」、六ツ美地区において実証実験中の『チョイソコおかざき』を意識した「移動支援」など、タイムリーなものや意見を反映できそうなものを選んで話し合いが行われました。

また、フードドライブについては、まちMTGでの議論を踏まえて、より開かれたアイデア出しの場として岡崎アイデアソン（※2）を開催しました。ここでは、企業、個人事業主、NPO、学生が参加し活発な意見交換が行われました。



※1 第2回 OKフードドライブ(11/26開催)



※2 第5回 岡崎アイデアソン(11/30開催)

開催概要

■スケジュール

- 5/27(木) ミーティング立ち上げの打合せ
- 6/24(木) フードドライブ①「概論(事例学習)」
- 7/29(木) フードドライブ②「ニーズの把握」
- 9/30(木) 移動支援編①「課題抽出(高齢者の移動ニーズの深堀)」
- 10/28(木) 移動支援編②「課題の可視化」
- 12/6(月) フードドライブ③「岡崎市での次の展開」
- ※1月以降は「終活サポート」などのテーマを予定。

■主な参加メンバー

第1層生活支援コーディネーター(岡崎まち育てセンター・りた、社会福祉協議会)、第2層生活支援コーディネーター(地域包括支援センター)、コミュニティソーシャルワーカー(社会福祉協議会)、ふくし相談課、その他関係機関(障がい者基幹相談支援センター、相談支援事業所など)、民間事業者など。
※第1層や第2層などの階層の表記は、事業における対象範囲のことで、第1層は「市域」、第2層は「小学校区や町内会」、第3層は「個人」と設定しています。

担当者コメント(りた事業推進マネージャー 三矢勝司)

■場づくりの大切さを実感

縦割りの体制の固定化や、横のつながりや情報共有が無いことの弊害は、どこの組織でも、どこのコミュニティでも起こり得ることで、それは地道なコミュニケーションでしか解決できません。このまちMTGでは、それまでふくし相談課が密に関わっていなかった機関や企業などとの情報共有ができ、それぞれの立場の苦労や課題を理解し、幅広い包括の業務を他団体や他課に知ってもらえたことが成果であり、そういう場づくりを続けて意見交換や認識共有の場を無くさないことが大切であると実感しました。

■今年度の成果

当初は「支え合いのまちづくりミーティング」という仮称を使用していましたが、ここに集まっている面々が目指しているのは「今回は助けてもらうけど、ある時には助ける側になる」といった、共に生きる、共生的な地域社会像でした。そこで「支え合い」というより、一人ひとりの生き方に寄り添うイメージを意識して「居場所と役割にあふれるまちミーティング(まちMTG)」と改称しました。このように、話し合いの中で認識が深まり、改まる、共に学習・進化し続ける関係を生み出してきたのが、大きな意味での成果だと思います。

まちMTGは、一つのお題(テーマ)を設定して、そこに向かって関係者同士が情報交換、意見交換することで、何か新しい動きの一助になれば、というくらいのフワとしたルールで始まりました。しかし、いざ話し合いを始めてみると、お互いが了解している常識や基本的な情報にギャップがあり、それを埋めるところから始め、次に課題を設定し、その次に課題解決の方法を話し合う、という段階を踏まないと進められないこともわかりました。結果、一つのテーマを複数回かけて話し合う、という「話し合いの型」を編み出したのも、今年度の成果だと思います。

【2021年度全センター合同広報講座】 年表で活動の見える化！～団体の履歴書を作ろう～

今回の広報講座は、団体のこれまでの活動を記録した資料を作成し、今後の広報や企画に生かしていける内容としました。活動を時系列に並べて整理した資料は、外向けには団体紹介、内には認識共有のツールとして有用なものです。しかし、平常時には、日々の活動に追われ、じっくり振り返れない団体が多いのではと考え、新型コロナウイルスの影響で団体活動が制限されているこの時期こそ絶好のチャンスと前向きに捉え、このような企画が生まれました。講師には情報発信のプロである雑誌編集者を招き、掲載物件のリストアップから雑誌の企画のアイデアを生み出す方法などの話を交えながら「見える化」の利点についての解説がされました。

●講座について

前半の年表ワークでは、活動が見える化する年表について、使用方法に合わせて項目を設定することなどの説明がありました。年月に沿って活動を並べる年表パターンや、目的や結果も記入する企画書兼報告書パターンなどが示され、より良い「見える化」について考えました。また並べられた項目の共通点、変化、偏りなどが浮かび上がることで、団体に足りていないことや次にやるべきステップが見えてくることについて学びました。

後半の履歴書ワークでは、作成した年表の使い方の一例として、団体の履歴書を作成しました。このとき履歴書の提出先(①仲間として誘いたい人、②イベントに来てほしい人、③協力者になってほしい人、④その他「自由設定」)を各自で決めてもらい、提出先によって書く内容が変化することを学びました。記入後は参加団体でペアを作って「採用担当者」と「応募者」として興味を持って質問し合う時間が設けられ、履歴書を加筆修正して充実した内容に仕上げました。

作成した履歴書の展示会開催決定!!

詳しくは4p「NEWS 2」をご覧ください。

当日の流れ

- 前半：年表ワーク
 - ・年表のパターンや使い方の解説
 - ・年表の項目の検討&相談
- 後半：履歴書ワーク
 - ・団体履歴書の記入
 - ・履歴書を活用したペアワーク



「情報は整理しておくと便利」と話す講師の小嶋氏



熱心に講師の話に耳を傾ける受講者の皆さん



団体が事前提出した資料に講師がアドバイスを用意して、きめ細やかにサポート。

参加者の声

目的と成果を考えて活動する事で一段と成果が上がると思った

将来的な団体活動の方向性について考える機会になった

活動の問題点や今後の活動の目的などを見つけることができた

多くの団体がコロナの状況下でも頑張っているなと思いました

担当者コメント(市民活動センター長 稲葉 亜泉)

市民活動を支援する立場の私たちは、活動がままならないなかでも「できることがあるはず」との思いを持って今回の広報講座を企画しました。「何もできない」が挨拶がわりの状況でも、立ち止まってはいられません。参加していただいた団体のみならず、積極的にワークに取り組んでいただき、本当にありがとうございました。真摯に活動に向き合う姿に、私たちも勇気づけられました。また普段接することのない団体同士の交流が生まれたことや、りたが運営するセンターのスタッフが日頃の傾聴スキルを活かして参加団体のサポートに入ったことも、成果の一つと言えると思います。引き続きセンターの窓口スタッフによるサポートも行っていきます。今回参加できなかった方もお気軽にご相談ください。